

輝くママになる映画

前作を超える感動のドキュメンタリー
大ヒット映画『うまれる』シリーズ第2作

ずっと、いっしょ。

ナレーション 樹木希林

あなたに逢えてよかった。

0歳児
から
入場できます

ベビーカー置き場
授乳スペースあり

入場無料

8月1日(火)より整理券を配布します。

配布場所は裏面をご確認ください。

企画・監督・撮影：豪田トモ プロデューサー：牛山朋子 音楽：古田秘馬 構成：上村直人 タイトルデザイン：溝田明 ©2014 IndigoFilms

うまれる命、旅立つ命……。いのちに向き合う3組の家族を描いた、愛の物語。



開催日：平成29年9月9日(土) 午後2時(上映時間122分)

※上映時間の30分前より開場します。

場所：多賀城市文化センター 小ホール(定員300名)

平成29年度人権啓発(男女共同参画)映画上映会

主催：多賀城市、仙台人権啓発活動地域ネットワーク協議会、塩釜人権擁護委員協議会、仙台法務局塩電支局

ママさんタイムを実施します

3歳以下の小さなお子さまの入場を許可した上映会を「ママさんタイム」とネーミングしています。一般のお客さまもどうぞ「赤ちゃんの泣き声はBGM」と暖かく見守ってください。

家族の絆ってなんだろう？

何もない人生なんてない。

誰もが向き合わなければならない課題を持って生きている。

累計50万人以上を動員し、観る者を感動の涙で溢れさせたドキュメンタリー映画『うまれる』。生命の誕生を見つめ、様々な人生の選択とそこから生まれるドラマに寄り添った感動から4年。

さらにテーマを深め、「家族の絆とは何か？」を問う『うまれる』シリーズ第2作『ずっと、いっしょ。』が、うまれた。本作には、“最愛の妻を失った事実に向き合う夫”“血の繋がりがない息子に向き合う父”、そして“重篤な障がいを持つ子を育てる夫婦”の、3家族が登場する。

彼らの姿を通し、常に密接にある“生と死”を凝視しながらも、そこから脈々と受け継がれていく生命、生きる力、そして、その土台となる“家族の在りよう”に、深く感銘し、胸を打たれずにはいられない。



■血の繋がりのない息子を育てる父親

初めて父親と息子が出会ったのは、息子がまだ2歳の頃。息子は母と前夫との子どもで、父とは血の繋がりがなくステップファミリーだ。5歳になり、自分を実の父親であると疑っていない息子に、事実を伝えるべきか、迷う。今までの関係が壊れてしまわないか、不安に押しつぶされそうになりながら、息子に大切なことを伝えたい、と重い口を開く。



■最愛の妻を失った夫

末期の大腸がんを患っていた妻が、闘病の末、自宅に戻る。結婚した2人の娘も実家に戻り、残された時間を家族と共に過ごすことに。長女のお腹にいる4人目の孫の誕生を楽しみにしていた妻は、家族に見守られながら、「幸せ。ありがとう」と涙を流し、静かに息を引き取る。42年間連れ添った夫の悲しみは深く、遺影の前で涙する日々。遺された夫は、どのように立ち直っていくのか？



■不治の障がいを持つ子を育てる夫婦

1歳まで生きられる確率が約10%と言われる、18トリソミーという染色体の障がいを持って生まれてきた虎ちゃんは、前作で1歳の誕生日を迎えた。2歳になり、たくさんの笑顔を見せるようになり、できることも少しずつ増えていた。だが突然、虎ちゃんが危篤状態に陥る。両親は、虎ちゃんの死を覚悟するが…。果たして虎ちゃんは…？

子育てに悩むすべての人たちへおくる物語

奇跡的に生まれてきた小さいのち僕は良き父親になれるのだろうか？

誕生をテーマにした前作『うまれる』(2010年)の公開と同時に娘が生まれ、小さく愛おしい命を目の前にした僕は、率直に「いい親になりたい。家族と幸せに一生を過ごしたい。」と思いました。でも、それは自分が期待するほど簡単な作業ではないとすぐに気づかされました。

長年、親との葛藤を抱えてきたが故の僕の「家族の肖像」が、あまり理想的なものではなかった事と関係しているかもしれません。

それから、4年あまり。カメラを片手に様々な家族を追いかけて完成したこの作品は、家族とは、父親とは、幸せとは、という様々な不安、責任、そして希望を追いかけた僕自身の心の記録です。

映画を観ていただいた方、それぞれに、感じていただけることがあると信じています。

監督 豪田トモ



家族とは、大変な時も、喜びの時もある。人間はそういうものですが、問題を抱えながら生き続けていくものだと思います。本作にはたくさんのメッセージが詰まっています。観る人には、それを「心で」感じて欲しいと思います。ナレーション 樹木希林

手に入れて、手離して。出逢って、別れて。

産まれて、死んで、また生まれる。

なんてステキな物語なのでしょう。

出演者のみなさんの交差する愛。そして、制作側の愛あふれるまなざし。観終わって、「ありがとうございます」と呟いちゃいました。

東ちづる (女優)

家族とはずっと一緒にいることは出来ない。

でも、全力で命をかけて愛することで、ずっと一緒にいれるんだ。

鈴木おさむ (放送作家)

ずっと、いっしょ。

うまれる

整理券配布場所

- 多賀城市役所 地域コミュニティ課 (平日 8:30~17:15)
 - 多賀城市文化センター (9:00~19:00 月曜休館)
 - 大代地区公民館 (9:00~21:30 月曜休館)
 - 山王地区公民館 (9:00~21:30 月曜休館)
- ※当日参加OK (満席になり次第入場を締め切らせていただきます)

企画・監督・撮影：豪田トモ
製作：インディゴ・フィルムズ
©2014 IndigoFilms 2014 / 日本 / HD / カラー / 122分
企業サポーター

上映会に関するお問い合わせ

多賀城市総務部地域コミュニティ課
市民活動推進係
電話 022-368-1141 (内線253)

人権擁護に関するお問い合わせ

多賀城市市民経済部生活環境課
総務企画係
電話 022-368-1141 (内線233)

うまれる www.umareru.jp

会場へのアクセス

- 住所：多賀城市中央二丁目27番1号
- 電車：JR仙石線多賀城駅下車 徒歩約7分
- 駐車場のご案内：多賀城市文化センター 東側駐車場(125台・無料)

※駐車場は混雑が予想されますので、公共交通機関をご利用ください。